

PICK UP 授業

建物を建設する段階の業務知識を学ぶ建築生産と設計の基礎を学ぶ建築設計基礎Ⅱでは、このような授業をしています。



建築生産

これまで「建築生産」と言えば、建物を建設する段階の業務知識の学習が中心でしたが、今日では建物を設計する前の企画段階から解体・リサイクルなど建物を取り壊す段階まで幅広い業務知識が求められます。特に近年では、環境や景気の悪化などの社会動向を受けて長寿化の実現が求められるため、建物の運用・管理の段階から「建築生産」全体の業務を見直す動きが活発です。そこで本授業では、「建築生産」全般の業務と作業手順を学習します。



Teacher's Voice

◀建築学科
堤 洋樹 准教授

建築は、いわゆる建築家だけではなく、様々な分野の専門家が集まって一つの作品（建物）を作り上げる分野です。そのため建築学科では、建築に関わる多様な分野の専門家になるための勉強ができます。ぜひ建築に興味がある方は、本学の建築学科に入って、だれにも負けない技術と幅広い知識を備えた社会人になってください。



建築設計基礎Ⅱ

手描きで図面を描くことで、木造建築の成り立ちを理解すると同時に、わかり易く正確に伝える表現のために重要な線の意味、記号の使い方、縮尺による省略の方法等、図面の描き方の基本ルールを身に付けます。建築模型も重要なコミュニケーションの道具として指導します。後半は、各自のコンセプトで大学内のバス停を設計し、図面、模型で表現してもらいます。一人一台、自分の製図台を専有して課題に取り組める製図室があり、自分の作業場所として、また友人と議論する場所として、授業時間外も利用できるようになっています。



Teacher's Voice

◀建築学科
石黒 由紀 准教授

建築の歴史は人類の歴史とともにあり、気候や風土、時代によって様々です。その多様性を知り、理解することは、文化や社会、人間が生きることそのものについて考えることにつながります。訪れるどこの街でも建築がいきいきと語りかけてくるようになります。さらに、自分で設計した建物が街に建ち上がり実際に使われるのは、大きな責任であるとともにかけがえない感動があります。

将来について

取得可能な資格

- 一級建築士・二級建築士
- インテリアプランナー
- 建築整備士
- 設備設計一級建築士
- 構造設計一級建築士
- 建築積算士
- 建築施工管理技士
- 木造建築士

上記以外に、建築学科の卒業生が得られる受験資格として、商業施設士、管工事施工管理技士、建設機械施工技士、建築設備検査資格者、特殊建築物等検査資格者があります。

卒業後の主な進路

- 本学または他大学の大学院進学
- 建設関連企業
(総合建設会社・建設コンサル タント会社・建築設計事務所など)
- 不動産関連企業
- 公務員 ほか